

住友理工株式会社

グローバル本社
〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0200

小牧本社
〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地
tel 0568-77-2121

<https://www.sumitomoriko.co.jp/>



2024年7月発行



Sumitomo Riko
Corporate Profile

会社案内



Global Excellent Manufacturing Company

自然と都市と人の空間が繋がるグリーンで快適な社会

気候変動や価値の多様化、グローバル化など、さまざまな社会的課題に対して、
住友理工では、既存事業領域の深化と融合分野の事業探索を加速させることで、
自然と都市と人の空間が繋がり、全ての人が互いを尊敬し、活躍できる社会の実現を目指します。

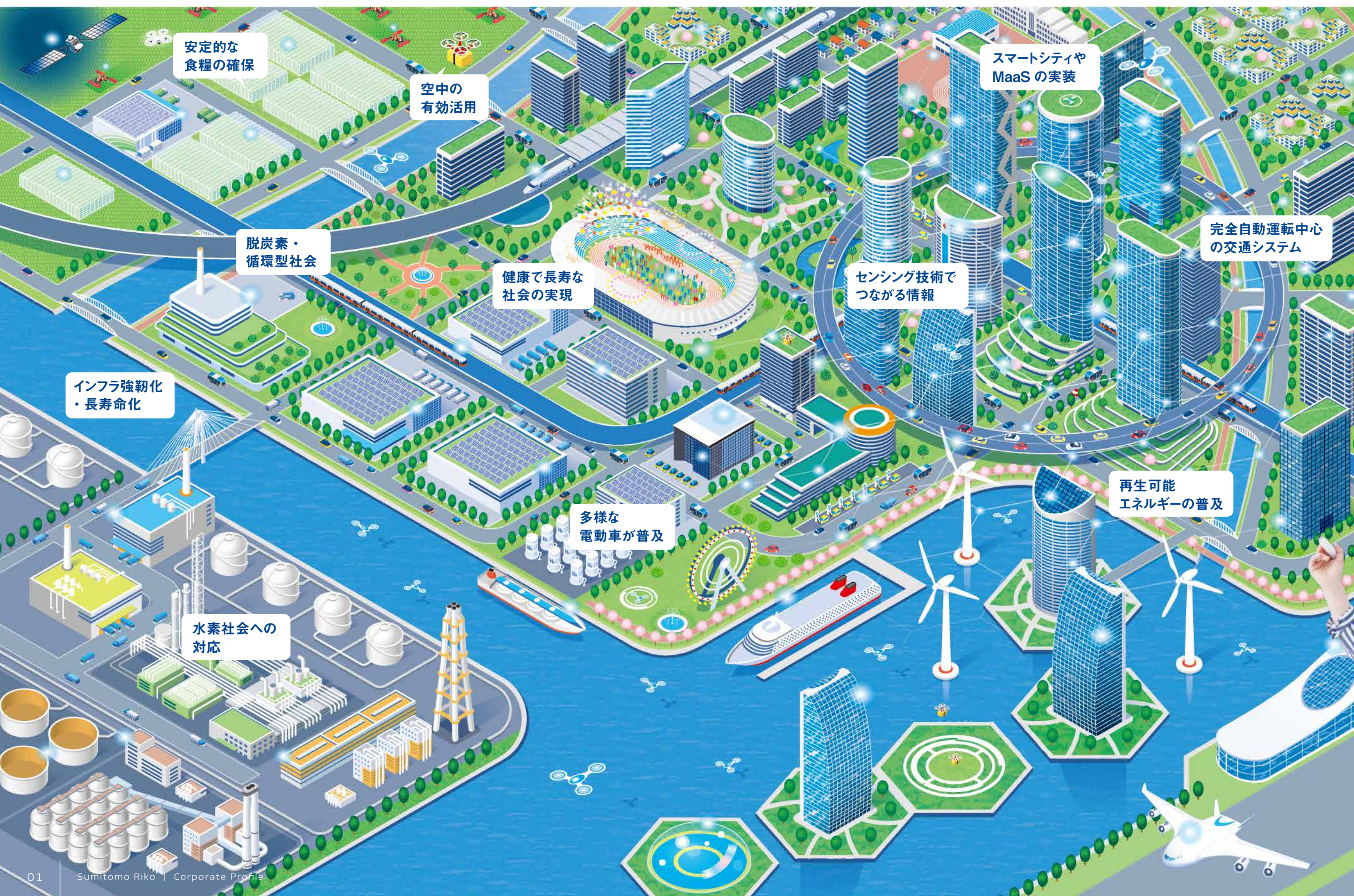
快適

価値観が多様化する中で、人々の
安心・安全を支え、さらなる快適を
実現する製品開発を続けます



グリーン

脱炭素、循環型社会、新エネルギー
をはじめとする、グリーンな社会の
実現にモノづくりで貢献します



リコウの技術で、
彩るミライ。



素材の力を引き出し、 社会の快適をモノづくりで支える リーディングカンパニーとして進化し続けます。

住友理工は、住友事業精神を根幹に、時代の方向性や市場ニーズを的確につかみながら事業領域を着実に広げ、高付加価値の製品を世に送り出してきました。

1929年の創業から培ってきたコアコンピタンス「高分子材料技術」「総合評価技術」を強みに、常に新しい価値を創造し続けてきました。市場の要望にお応えするための製品開発・供給体制を整備し、現在では世界20ヶ国以上で事業を展開するグローバル企業として、さらにその歩みを加速させています。

一方、社会の変化や技術革新の流れが、以前とは比べ物にならないほど速くなっている中で、私たちは、きめ細やかな作り込みや高い品質を重んじる日本のモノづくり企業としての矜持を、決して忘れてはならないと考えています。

経営ビジョン「2029年 住友理工グループVision」策定にあたり、グループ全体で実現したい未来社会像を「自然と都市と人の空間が繋がるグリーンで快適な社会」と設定しました。人々の豊かな暮らしの実現に向けて、今後も事業環境の変化に柔軟に対応しながら、新たな時代に即した技術・製品を、スピード感をもって生み出していきます。

そして、グループ内だけではなく、外部との共創による既存事業領域の深化と融合分野の事業探索によって、2029年のありたい姿「理工のチカラを起点に、社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける、リーディングカンパニー」への変革を目指してまいります。

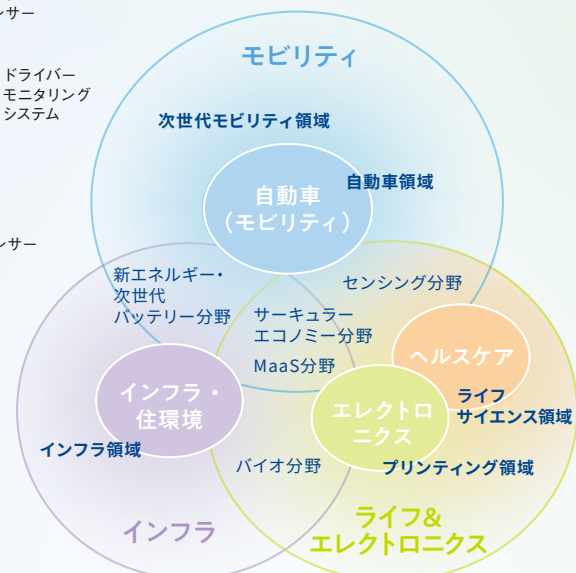


住友理工株式会社
代表取締役 執行役員社長
清水 和志

住友理工のテクノロジー



住友理工の事業領域



住友事業精神

営業の要旨

※住友合資会社社則
(昭和3年制定)より

2029年住友理工グループ Vision Global Excellent Manufacturing Company



「住友の事業精神」は、住友家初代の住友政友が商売上の心得を簡潔に説いた「文殊院旨意書」を基に、住友の先人たちが400年に亘り磨き続けてきたものです。その要諦は「営業の要旨」として、現在も住友各社の経営指針として引き継がれています。

〔第一条〕 我が住友の営業は、信用を重んじ確實を旨とし、以てその鞏固隆盛を期すべし
〔第二条〕 我が住友の営業は、時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしと雖も、苟も浮利に趨り、軽進すべからず

- 萬事入精 (ばんじにつせい)
文殊院旨意書の前文、「商事は言うに及ばず候へ共、萬事精に入れられるべく候」に由来する言葉：まず一人の人間として、何事に対しても誠心誠意を尽くす人であれ。
- 信用確實 (しんようかくじつ)
営業の要旨 第一条：
住友の事業は、何よりも信用・信頼を大切にすることを基本にすべき。
- 不趨浮利 (ふすうふり)
営業の要旨 第二条：
社会の変化に迅速・的確に対応し利潤を追求すべきであり、既存の事業に安住することなく、常に事業の興廃を図る積極進取の精神が重要である。一方で、「浮利」すなわち一時的な目先の利益や道義にもとる不当な利益を追求してはいけない。

住友理工グループ 経営理念

- 住友事業精神を踏まえ、住友理工グループは、
1. 技術革新を基盤にお客様の要望に応え、優れた製品・サービスを提供します。
 2. 安全を経営の最重要課題と位置付け、人・社会の安全確保に努めます。
 3. 地球環境に配慮し、よりよい社会環境づくりに貢献します。
 4. 高い企業倫理と道法の精神で、世界各国の地域社会から信用・信頼される企業を目指します。
 5. 従業員の多様性、人格、個性を尊重し、活力溢れる企業風土を醸成します。

CASE

素材を描き、未来を創る。

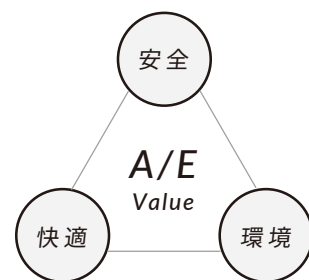
Innovation by Materials

“CASE”を加速させる住友理工

Value

価値の創造と提供をめざす。

1929年の創業以来、住友理工グループは防振ゴムやホースの開発を通じて、自動車産業の発展を支えてきました。次世代モビリティの開発に向けて世界が動き出した今、私たちもさらに技術を進化させ、特にCASEにおける「Autonomous(自動運転)」「Electric(電動化)」領域を軸に、安全・快適・環境の側面から社会に貢献します。



乗員

センシング

HEV / PHEV BEV FCEV

モーター

音・振動制御

HEV / PHEV BEV FCEV

ボディー・シャシー・ 車両配管など

熱制御

HEV / PHEV BEV FCEV

音・振動制御

HEV / PHEV BEV FCEV

流体制御

HEV / PHEV BEV FCEV

エネルギーソース

熱制御

HEV / PHEV BEV FCEV

シーリング

HEV / PHEV BEV FCEV

Mission

理想的なクルマ社会の 実現をめざす。

今、自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えています。その変革のカギを握るのが、「Connected(コネクテッド)」「Autonomous(自動運転)」「Shared & Services(シェアリング)」「Electric(電動化)」の頭文字を取った「CASE」です。CASEの進化を加速させる。その先に、私たち自動車産業がめざす、理想のクルマ社会があります。

Core Competencies

素材力を研ぎ澄まし、 その先をめざす。

お客様のニーズを満たす製品開発のベースとなるのが住友理工のコアコンピタンス。配合・合成・改質をベースに高機能な原材料を創出する「高分子材料技術」と、製品に必要な性能や信頼性を自社で評価・検証する「総合評価技術」です。2つの強みを武器として、既存事業の拡充はもちろん、新市場・新領域への事業展開を積極的に進めています。

高分子材料技術の開発プロセス



動画で見る

100年に一度の自動車革命
「CASE」に挑む住友理工の技術力。〈YouTubeチャンネル〉Sumitomoriko



A く 自動運転 く センシングテクノロジー

自動運転の進化と 安全性を握るセンサー。

自動運転において、レベル2では運転者が、レベル3ではシステムがそれぞれ運転主体となります。条件外の走行や緊急時には、運転者がステアリングを握る必要があり、その際に確実に握っているかを検知するのが住友理工のセンシングテクノロジーです。さらに、センサーをシートに設置することで運転者や同乗者の生体情報(心拍成分や呼吸成分などによるバイタルデータ)を検知し、より安全で快適な走行をサポートします。



ステアリングタッチセンサー

SRセンサ技術に応用したデバイス(センサー)をステアリングに内蔵。ステアリングを握る状態やポジショニングを検出し、自動運転から手動運転への安全な切り替えをサポートします。



モニライフ・モビリティ(ドライバーモニタリングシステム)

SRセンサを内蔵。シートに設置し、座面の圧力変化から生体情報(心拍成分や呼吸成分などによるバイタルデータ)を検知します。居眠りや急病の予兆などドライバーの状態を推定し、警告や運転支援システムの作動、外部への通報といったサービスへとつなげます。



E く 電動化 く 熱制御テクノロジー

熱をコントロールし、 クルマをより快適、よりエコに。

自動車においてシステムの温度を適正に保つことは、本来の高い能力を発揮するために極めて重要です。また、エンジン車に比べて熱の発生量が少ない電気自動車(BEV)においては、熱源を冷やすだけでなく、車内で発生した熱をいかに効率よく利用できるかが航続距離や性能に大きく影響します。このように熱を無駄なく、効率よく使い切るのが熱制御技術です。



薄膜高断熱材「ファインシュライト」

高分子材料技術に応用し、空気が動かないほど微細な、ナノサイズの細孔を持つ高断熱ファイラー(シリカエアロゲル)を塗料化。不織布、成形樹脂などの基材にコーティングすることで、静止空気以上の高断熱性を発揮します。車載用のほかに、家電や住宅、フードデリバリーなど多様な分野での活躍が期待されています。



冷却系ホース

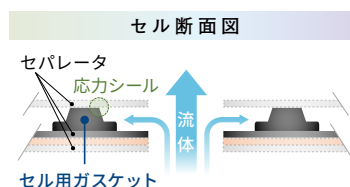
ラジエーターホースやバイパスホースなど、自動車を冷却する冷却水を運ぶホース。また、冷却だけでなく、電動部品から発生した廃熱を他の回路に利用する際にも用いられます。



E く 電動化 く シーリングテクノロジー

クリーンなクルマを 安全に普及させるシーリング技術。

電気自動車(BEV)は電気をバッテリーからモーターに、燃料電池車(FCEV)では水素をFCスタックに、ハイブリッド車(HEV/PHEV)は電気と燃料をモーターとエンジンに送っています。その際、電気や水素を外部に漏れ出さないように絶縁・密封する技術が安全上不可欠で、特に水素を燃料とするFCEVでは、より高度な技術が求められます。そうした絶縁・防塵密封環境をつくる技術がシーリングテクノロジーです。この技術はトラックやバス、鉄道車両の開発にも採用。自動車の枠を超えた領域へ応用することで、脱炭素社会の実現に貢献していきます。



セル断面図

セル用ガスケット

FCスタック内で水素と酸素、そして、水の漏れを防ぐゴム製シール部材。氷点下から100℃以上の広い温度領域において高いシール性を発揮し、FCEVの長期安全性、高効率な発電性能に貢献しています。

水素ホース

水素タンクに補填された水素をFCスタックに供給するホース。分子量が小さい水素に対する非常に高度なシール性要求に応え、いかなる条件下でも水素を車外に漏らしません。

トヨタ新型「MIRAI」に搭載された住友理工の主要製品



FCEV向け防振ゴム

- FCスタックフレームマウント
- レギュレーターマウント
- 水素タンクマウント
- エアコンプレッサーマウント



FCEV向けホース

- 水素ホース
- エアー系ホース
- FC冷却用ホース



E く 電動化 く 音・振動制御テクノロジー

車内の静粛性と安定性を高め、 乗り心地を向上させる。

走行時にエンジンや路面から発生する振動・騒音は乗り心地に大きく影響を及ぼします。特に電気自動車(BEV)においては、エンジン音に埋もれていた高周波のモーター音が表面化するほか、自動運転の進展によりクルマの居室・居住空間としての利用が高まるにつれ、静粛性はこれまで以上に重要なものに。そのため、振動・騒音を可能な限り遮断し、より良い乗り心地を実現するのが音・振動制御の技術です。



※製品カットサンプル

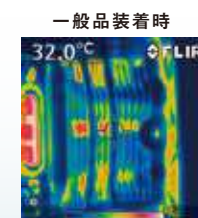
車体用ダンパーブレース

高分子材料技術で開発した、振動エネルギーを熱エネルギーに変えて吸収する「高減衰特殊粘弾性材料」を内蔵。ゴム素材の特徴である設計自由度の高さを生かし、スペースが限られた狭い場所にも取り付けることができます。

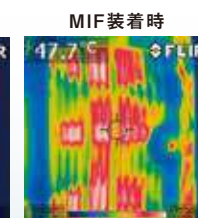


MIF(マグネティック・インダクション・フォーミング)

「放熱」と「防音」を両立する素材として、住友理工が培ってきた配合技術を生かし、発泡体でありながら一般的な防音ウレタンの10～50倍もの放熱性能を実現。将来的には、家電製品など、より幅広いニーズへの応用が期待できる放熱防音材です。



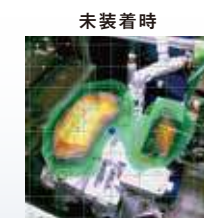
一般品装着時



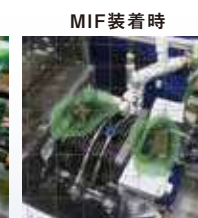
MIF装着時

放熱テスト

赤外線サーモグラフィにて、モーターに装着した防音カバーの表面温度を測定。一般品装着時と比較して、MIF装着時は15℃以上高温になっており、MIFがモーターの熱を奪い、外気へ効率良く放熱していることが分かります。



未装着時



MIF装着時

防音テスト

音カメラにて、モーターから発生する騒音を視覚化。MIFを装着した場合、未装着時と比較して明らかに騒音が小さくなっています。条件によっては約10dBの騒音低減効果が得られています。

Products

住友理工グループの製品

創業以来培ってきたコアコンピタンス「高分子材料技術」をベースに、先進的なモノづくりを行ってきた住友理工。
常にあたらしい価値を創造し続け、「自動車(モビリティ)」「インフラ・住環境」「エレクトロニクス」「ヘルスケア」の4つのフィールドで安全・安心・快適で環境にやさしい社会づくりに貢献しています。



〔自動車(モビリティ)〕

最も身近な移動手段である自動車。ドライバーと同乗者の「安全」「安心」はもちろん、さらなる「快適」の提供を目指すのが住友理工の自動車用部品です。路面やエンジンからの振動を抑制・制御する防振ゴムは世界トップシェア*を誇ります。国内トップシェア*のホースのほか、エンジンカバーやシートなどの制遮音品・内装品など幅広いラインアップを揃えています。世界5極での開発・供給体制を構築し、高品質な製品をいち早く全世界に供給します。※当社推定

automotive (mobility)

世界中の自動車の安全・安心・快適な走りを支える 住友理工の防振ゴム開発技術。



トヨペット・クラウン

住友理工が防振ゴムの開発に乗り出したのは、1953年のこと。1929年の創業以来、ゴムベルトを製造する会社として、コンベヤーベルトや糸ゴム、産業用ゴムホースなどを製造していましたが、車社会の到来を見据え、当時の社長が「ゴムの弾性を、ばねとして有効に生かした製品を開発したい」という方針を打ち出したのが、防振ゴム分野への参入の始まりでした。最初に開発に着手したのはエンジンサポートという、車体に固定し、エンジンを支える部品。開発初期の段階では、「振動を抑えるゴムをどうやって金属に接着させるか」「劣化を抑えて

Topics

耐久性を高めるためにはどうしたらいいか」など、すべてが試行錯誤の連続でした。アメリカの大手化学メーカーが、ゴムの劣化を防ぐ素材を開発したことを知ると、いち早くその技術を取り入れるなど、試作と改良を重ねていきました。その甲斐あって、トヨタ自動車株式会社から「耐久性に優れ、品質にばらつきが少ない」という高い評価を受け、純国産設計で開発された高級乗用車として1955年に発売されたトヨペット・クラウンに装着されることになりました。第1号製品がトヨタ車に採用されたこともあって、その後、他社からの受注が相次ぎ、防振ゴム事業の裾野を広げる端緒となりました。以来、60年以上の長きにわたって、住友理工の主力製品として当社を、そして、国内外メーカーの自動車の安全で快適な走りを支え続けています。



エンジンサポート

住友理工のセル用ガスケット、トヨタ新型「MIRAI」に継続採用。

住友理工では2000年代前半より、燃料電池自動車(FCEV)に搭載される燃料電池(FC)用製品の開発に着手してきました。2008年にはトヨタ自動車株式会社と「シール部材」の共同開発を開始。完成したゴム製シール部材「セル用ガスケット」は、トヨタが2014年に発売したFCEV「MIRAI」(初代モデル)に続き、2020年の新型「MIRAI」でも継続採用されました。

MIRAIは、水素をエネルギー源とし、走行中に水しか出さない究極のエコカーといわれ、その動力源にはセルを300枚以上重ねたFCスタックが用いられています。水素、酸素、冷却

水の流路をそれぞれ保ち、シール信頼性の高いセル用ガスケットの開発により、FCスタックの高性能化を実現しました。

新型「MIRAI」では、新規工法を導入してガスケットのバリレス化に成功し、さらなる小型・軽量化に貢献。また、低温から高温まで幅広い温度範囲における長期シール性を実現した高機能ゴムと、自動車用防振ゴムなどの製品開発を通じて培った精密加工技術を融合することで、FCの長期信頼性を確保しています。これからも、進化する自動車市場におけるお客様のニーズに柔軟に対応しながら、さまざまな社会課題を解決し、人と地球環境にやさしい次世代のクルマ社会の実現に貢献していきます。



新型「MIRAI」

Topics

防振ゴム

住友理工の防振ゴム製品は、高分子材料技術を生かした材料開発により、柔軟性と減衰性、そして高い信頼性を兼ね備え、エンジンや路面からの振動を効率よく吸収することで、快適な車内空間づくりに貢献しています。



耐熱ゴム製品

- ① エンジンマウント
- ② エグゾーストパイプサポート
- ① 液体封入式エンジンマウント



高分子材料技術から生み出された耐熱ゴムにより、従来比2倍の耐熱性を確保。長期信頼性に貢献します。



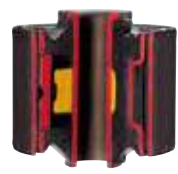
液体が封入され適切にチューニングされたエンジンマウントは、エンジンからの振動伝達を低減し、車の快適性と操縦安定性の両立に貢献します。

シャシー系部品

- ③ サスペンションブッシュ
- ④ メンバーマウント
- ⑤ ストラットマウント
- ③ 液体封入式サスペンションブッシュ



従来比2倍の耐久性を有するゴム材料の開発により、信頼性の向上や製品の小型化を実現します。



ゴムブッシュの内部に液体が封入され、大きな減衰力と最適化されたばね定数により、乗り心地と操縦安定性の両立を実現します。

軽量化部品

- ① 樹脂ブラケットエンジンマウント
- ① 樹脂ブラケットトルクロッド
- ⑤ ウレタン製バウンドストッパー
- ⑤ 樹脂製ダストカバー



ガラス繊維入り樹脂の材料特性を生かして最適設計された製品は、高強度と軽量化を実現し、自動車の燃費向上に貢献します。



素材の特徴を引き出す材料選定と形状設計により、性能と信頼性の向上を実現します。軽量化、リサイクル性にも優れ、環境にも配慮した製品です。

アクティブ製品

- ① 電気式アクティブ・コントロール・マウント(E-ACM)
- ⑥ バイブレーション・キャンセレーション・システム(VCS)



環境対応エンジンにも適応する高性能デバイス。ばね定数と位相をリアルタイムに変化させることで、さまざまな走行状態において優れた静粛性を提供します。

制振部品

- ⑦ ダイナミックダンパー



固有振動数をコントロールしたデバイスを車両の振動部に装着することでその振動を抑制します。車の快適性と静粛性を高めます。

制遮音品

自動車にはエンジンをはじめ、多くの騒音源があります。それらを遮断し、車内を静かに保つのが住友理工の制遮音品。エンジンカバーには耐熱性と吸遮音性を両立した当社独自のウレタン材料を使用し、高温のエンジン部でも高い防音性能を実現しました。

内装品

ユーザーの身体に直接触れる自動車の内装品においては、安全面を考慮した機能性はもちろん、五感を満足させる快適性の確保も重要な課題です。内装品分野では衝撃吸収性に優れ、かつ心地よい肌触りのヘッドレストやアームレストを提供しています。

① エンジンカバー



エンジン上部に取り付けて、エンジンからの騒音を低減します。耐熱性と難燃性に優れた材料の使用により、高温部位での使用も可能にしています。また、カバーのデザイン性に配慮するなど、エンジンルーム内の見栄えの向上にも貢献しています。

② 定在波スパーサー



エンジン本体と周辺機器との隙間で発生する騒音を低減するために、空間を埋める商品です。モールド成形技術により、複雑な形状へもフィットさせることができます。

③ ヘッドレスト

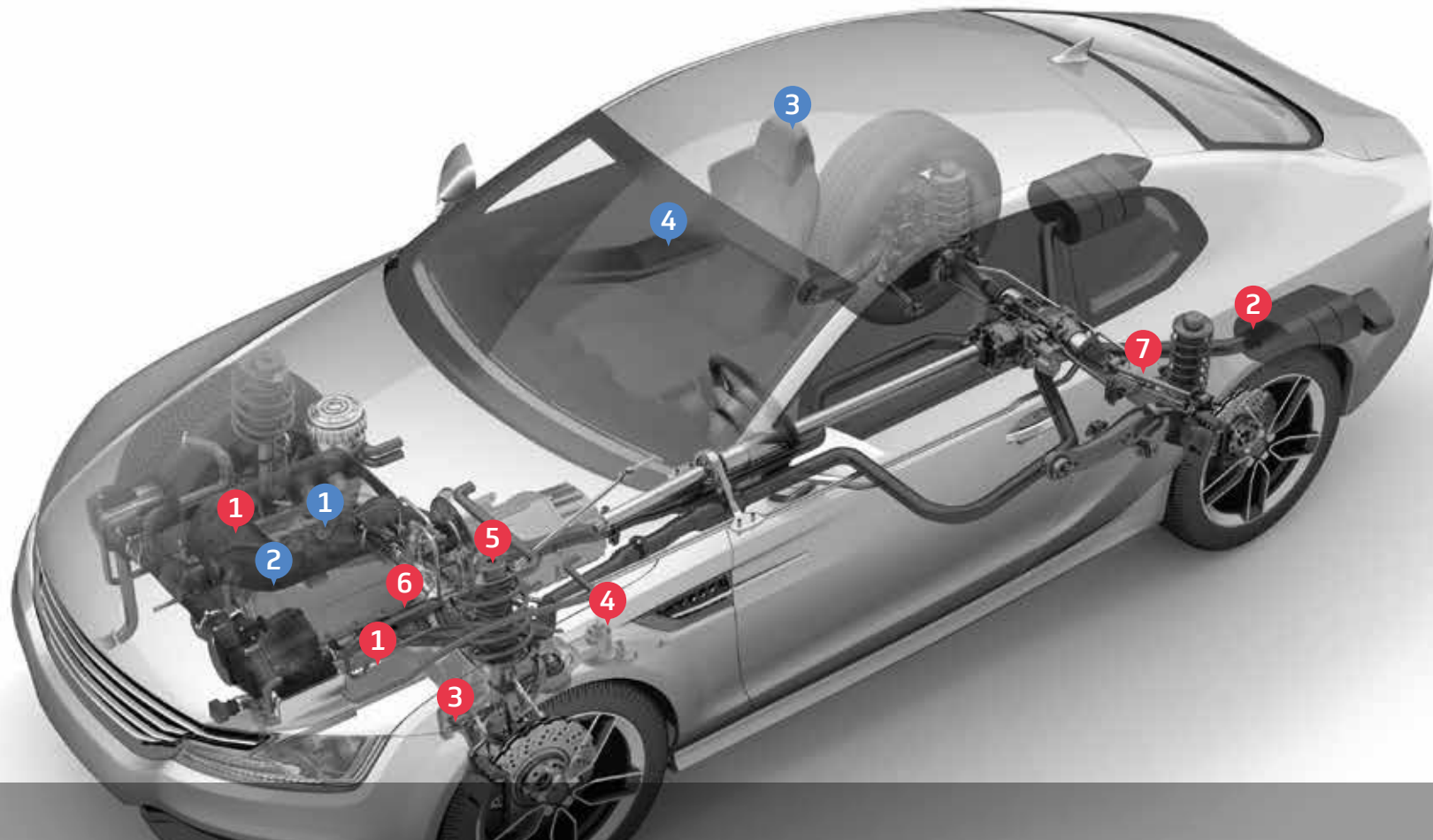


車の安全性と快適性に貢献する内装品です。独自のウレタン材料と、裁断・縫製から表皮一体発泡までの一貫生産で、安定した高品質な製品を提供します。

④ アームレスト



左右のドア中央部に設置され、そこに腕を乗せることによりくつろぎを提供しています。意匠性に優れた一体成形技術などを採用し、「乗る人にやさしい」製品を追求しています。



自動車とともに進化した防振ゴム。安全・快適な走り、環境への貢献のために。

エンジンマウントやサスペンションのシャシー系部品をはじめ、1台の自動車には多いものでは60〜70種類の防振ゴムが使用されています。自動車の進化に伴い、防振ゴムも進化しています。その最たるものの一つが電気式アクティブ・コントロール・マウント(E-ACM)。エンジンの揺れの波形をコンピューターで解析し、その逆相の波形を電磁的に与えることで振動を打ち消すものです。また、将来的にはさらなる環境対応型の製品が求められています。軽量化による燃費向上への貢献などもその一つ。安全で快適な走行と、環境への貢献の両立に向け、たゆみない研究開発を続けています。



放熱防音材 マグネティック・インダクション・フォーミング(MIF)

現在、自動車にはより多くのモーターが使われるようになっています。モーター特有のノイズを抑え、かつ熱的な弊害を起こさない素材へのニーズが高まる中、住友理工は「放熱」と「防音」を両立する放熱防音材「MIF」の開発に成功しました。住友理工が誇る配合技術を生かし、一般的な防音ウレタンの10〜50倍もの放熱性能を実現しました。将来的には、さまざまな家電製品など、より幅広いニーズへの応用が期待できる素材です。



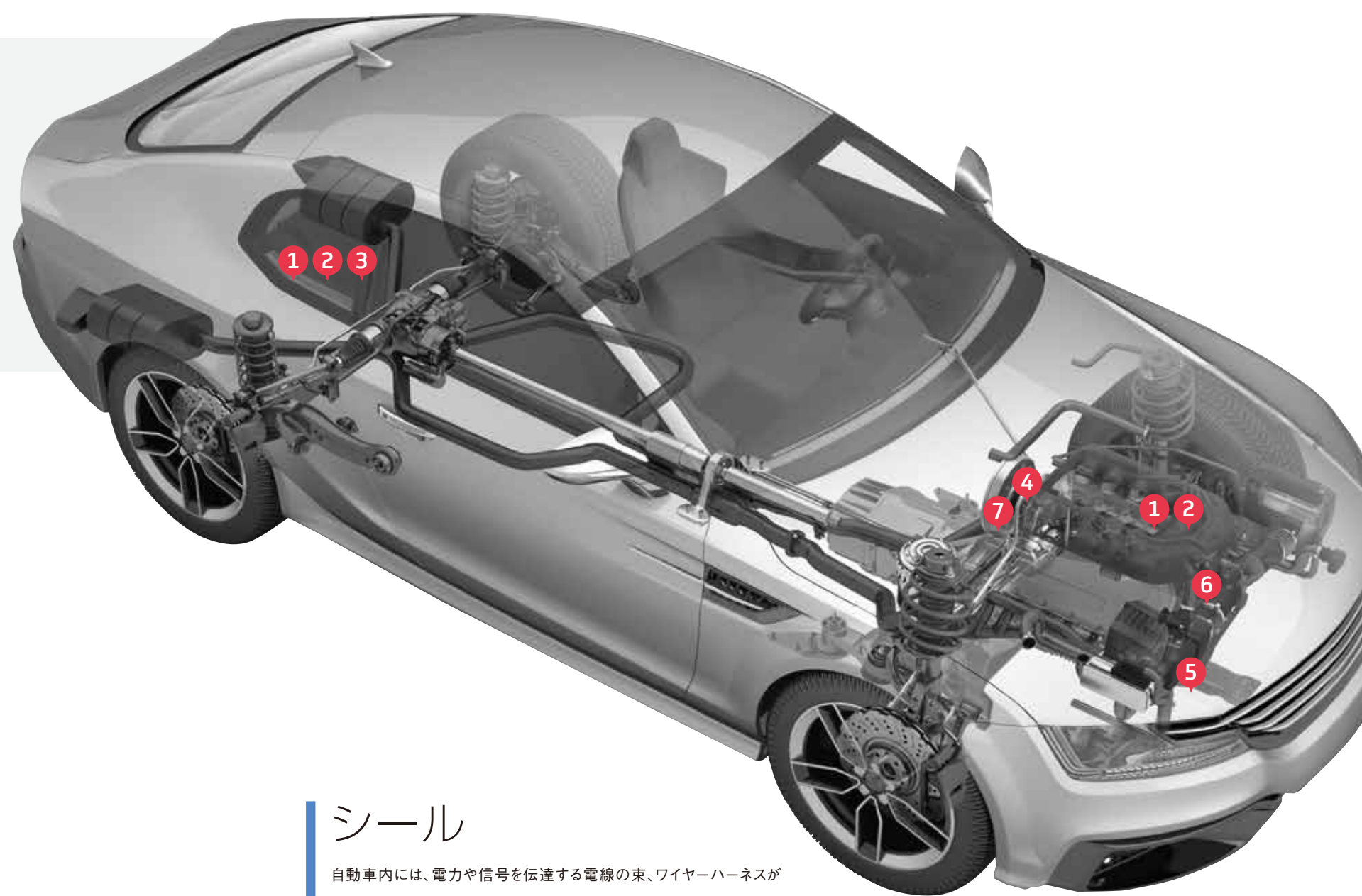
※モーターは16V定電圧駆動。近接100mmで計測

防振事業本部
防振技術統括部
松居 宏 渉

ホース

自動車の車体内部に縦横に張り巡らされた配管。
住友理工の自動車用ホースは、ゴムや樹脂の材料配合技術を強みとしています。
耐熱性や振動衝撃吸収性、軽量性に優れ、
エンジン周辺から燃料タンクまわりまで、さまざまな部位に採用されています。
さらに、「CASE※」をはじめとする自動車業界の大変革を大きなチャンスと捉え、
電動化や環境規制などに対応した新技術・新製品を創出していきます。

※「C:Connected(コネクテッド)」「A:Autonomous(自動運転)」「S:Shared & Services(シェアリング)」「E:Electric(電動化)」



1 燃料系ゴムホース



主にエンジン、燃料タンク周辺に使用され、耐燃料に優れた材料と耐久性の高い構造が求められる製品です。柔軟性が必要な非常に厳しい環境で使用されています。

2 燃料系樹脂ホース



主にエンジン、燃料タンク周辺に使用される製品です。高分子材料を多層化した低透過対応樹脂ホースは、世界最高レベルのガソリン蒸散規制に対応します。

3 キャニスター



主にガソリンタンク周辺に配置され、ガソリン蒸気の吸着と放出を繰り返します。世界最高レベルのガソリン蒸散規制に対応しています。

4 エアー・コントロール系ホース



高分子材料技術により耐熱性に優れた材料を開発。超高温のターボチャージャーに付属する耐熱ターボエアーホースなどを提供しています。

5 水系ホース



ラジエーターホースやヒーターホースなどの水系ホース。高分子材料技術を使い、耐熱性が非常に高い点が特徴です。

6 オイル系ホース



非常に厳しい熱環境下で使用されるため、高い耐熱性が求められる製品です。オートマチックトランスミッション性能を最大化し、車の燃費改善に貢献します。伝達オイルの温度を一定に保つ回路に使用されています。

7 エアコンホース



カーエアコンの冷媒循環回路に使用されているホース。柔軟性の高いホースの両端にアルミ金具を取り付ける高度なシール技術が生かされています。

水素ホース



密封することの難しい、小さな気体である水素を高圧で搬送するホースです。燃料電池自動車(FCEV)に搭載されています。いかなる条件下でも水素を車外に漏出させない高い信頼性と耐久性が要求される製品です。

シール

自動車内には、電力や信号を伝達する電線の束、ワイヤーハーネスが張り巡らされています。車室外にあるワイヤーハーネスには防水用シール材が1台当たり500個以上使用されており、住友理工は精密ゴム成型技術と独自の品質保証システムにより安定供給を実現しています。

コネクタシール



ワイヤーハーネスをつなぐコネクタを防水するための製品です。精密金型設計技術と液状シリコーン成型技術でバリゼロ、ロスゼロ、インライン検査により全数保証を実現しています。

ワイヤーシール

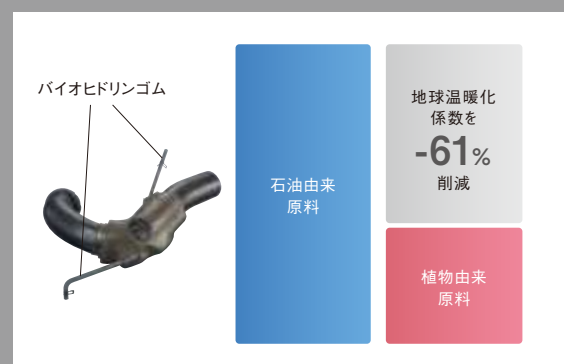


コネクタ内において個々の電線を防水するための製品です。プレスにロボットを配置し材料供給から検査、梱包まで一貫して無人で行う独自システムで生産しています。

バイオヒドリンゴム

植物由来原料から生まれた、環境にやさしいゴム。

高い耐油性・耐熱性が必要な自動車のホース類は、従来は石油由来原料で作られていました。住友理工がトヨタ自動車株式会社、日本ゼオン株式会社と協業して開発したバイオヒドリンゴムは、植物由来原料を分子レベルで石油由来原料と結合させる技術など、さまざまな複合化技術を駆使して生まれたバイオ合成ゴムです。耐油性・耐熱性・耐久性は、従来の石油系ヒドリンゴムと同等レベルを実現。しかも、大気中のCO₂を吸収して生長する植物を原料にしているほか、製造段階での電力消費が少ないことによって、従来品に比べて製造から廃棄までのライフサイクルでCO₂排出量を約20%削減できる、環境にやさしい新素材です。



※原料生成段階での削減効果

製品化へのさまざまなハードルを越えて。

開発当初はバイオ材料の流通も少なく、商用化に向けた採算性の面で疑問視する声も聞かれました。さらに石油由来原料とコストを同等にすることに加え、全く同一性能であることを証明するという点でもさまざまな苦労がありました。バイオヒドリンゴムを使った製品展開としては、トヨタ自動車が国内生産車種のバキュームセンシングホースへの適用を進めています。現在は、ブレーキ系ホースや燃料系ホースといった、よりシビアな条件が求められるホース類への実用化に向けて開発を進めています。

自動車用ホース事業本部
技術統括部
統括部長
坂崎 一茂





infrastructure

[インフラ]

建設機械や土木現場などで活躍する各種産業用ホース、地震の脅威から高速道路の高架や橋といったインフラ網を守る橋梁用ゴム支承など、住友理工の製品は産業の基盤づくりや公共交通の発展に寄与しています。新幹線をはじめとした鉄道車両の台車に使用される防振ゴムは国内でトップのシェア*を確立し、海外でも数多く採用されています。国内では震災復興、海外では新興国を中心としたインフラの整備に貢献していきます。

※当社推定

日本が世界に誇る新幹線。その安全な走行を支え続けてきた住友理工。

鉄道車両用の防振ゴム開発に住友理工が参入した歴史は古く、0系新幹線の時代にまで遡ります。世界各国の高速鉄道の中でも、群を抜いた性能を誇る日本の新幹線。その台車に使用される防振ゴムの多くは住友理工の製品です。開発においては、安全性はもちろんのこと、環境性に対する配慮も重要なポイントです。さらに、耐久性を高めて製品のライフサイクルを延ばし、メンテナンスコストを削減する。それらを総合的に解決することが、私たちに課せられたミッションです。今後は、これまでに培ってきたノウハウを生かし、海外にもより広く展開していきます。

Topics



重機

当社独自のゴム配合・成型技術や金具加工・接合技術を駆使し、各種産業機械のニーズに応えた超耐久ホースを提供しています。当社高圧ホースは、ゴムとワイヤーからなる複層構造で、耐圧性と柔軟性を両立。さらに特殊配合ゴムを使用することで耐候性・高耐久性を備えています。

高圧ホース アセンブリ製品



建設機械やフォークリフトなどに使用され、柔軟性を生かしたコンパクト配管を実現。世界各国のインフラ整備や物流の発展に役立てられています。

高圧ホース・金具・プレス機



高圧ホース・金具・プレス機をそれぞれ単体で販売することにより、ニーズに合わせ、各現場で自由にカスタマイズしたホースに加工できます。スピーディで最適なソリューションの提供を通じて、高圧ホースの即納ニーズに対応します。

建築・都市土木

ビル建築や土木現場などで利用される搬送用ホース。生コンクリートや地下工事の排泥水を送る耐摩耗ホースや産業機械用の耐油ホースなど、当社の材料開発技術による特殊ゴム材料や構造設計技術を駆使した高耐久ホースをご用意しています。

搬送用ホース

ハイアロー



建設現場で生コンクリートを圧送するポンプ車の先端部に取り付けて使用されています。軽量かつ柔軟で作業性に優れ、また特殊なゴム配合と構造設計で耐摩耗性が向上し、長寿命化を実現しています。

エルスター

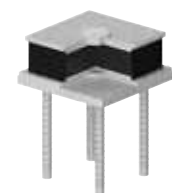


水や泥土、コンクリートの運搬などに使用され、大深度地下開発工事などで採用されています。長年にわたり、各種大規模工事での実績があり、都市開発に寄与しています。

橋梁

環境変化や災害から、高速道路の高架や橋などの安全を確保する橋梁用ゴム支承製品を開発しています。地震時の慣性力を分散・減衰させ、橋梁の耐震性能の向上に寄与する高性能型高減衰ゴム支承「HDReX」や超高減衰ゴム支承「HDR-S」、省スペースに設置可能なディスク型高面圧ゴム支承「DRB」などが、私たちの社会インフラを守ります。

高性能型高減衰ゴム支承「HDReX」



ポリマーの構造最適化、配合材の開発により、従来の高減衰ゴムより減衰性能をさらに向上させました。低温域での温度依存性の低減、低ハードニングを実現した高性能型の免震支承です。

ディスク型高面圧ゴム支承「DRB」



高硬度・高弾性な性質を持ち、耐オゾン性・耐寒性にも優れるウレタンゴムを使用して、高面圧化を実現したコンパクトゴム支承です。新設はもとより、既存橋梁の支承交換にも適しています。

橋梁用ゴム支承の施工事例 「備前♡日生大橋」(岡山県)



鉄道車両

長寿命と高耐久を要求されるインフラ分野にも対応する、住友理工のゴム材料。走行中の振動を吸収し、快適な乗り心地を実現する当社の鉄道車両用防振ゴムは、繰り返しの衝撃や過酷な環境にも耐え、国内だけでなく海外の鉄道事業にも貢献しています。

鉄道車両用防振ゴム

円筒積層ゴム



ゴムブッシュ



軸ハリゴムブッシュ



鉄道台車の車輪部の振動吸収、慣性力による衝撃吸収、操舵部位のヒンジ部に使用され走行安定性や台車、車体保護に貢献しています。

景観資材

景観に対するさまざまなニーズにお応えする製品を提供しています。特殊樹脂化粧型枠「モールドスター」は、土木用途では自然との調和に配慮したデザインを、建築用途では表情豊かな壁面デザインを提供しています。また、埋設型枠「バットウォール」は、工期短縮と廃材削減により、砂防や鋼矢板被覆など幅広い用途に採用されています。

景観資材の施工事例

モールドスター



バットウォール



NSモールド & NSコート



コンクリートにタイル調の意匠を施す製品。従来のマンションやビルなどにおいて、タイル貼りによる剥離・脱落のリスクを軽減し、メンテナンスコストを削減します。

[住環境]

人々の安全な生活を守る、住友理工の地震対策用制震システム「TRCダンパー」。木造住宅から高層ビルまでさまざまな建築物に設置され、地震時の揺れを吸収して建物の揺れを大幅に低減します。また、窓用高透明遮熱・断熱フィルム「リフレッシュ」も工場やオフィスだけでなく、鉄道車両でも採用され、快適な居室空間を提供しています。

housing environment



産業用機能部品事業本部
化工品事業部
免制振デバイス技術部
第3技術課

川畑 陽輔

地震大国・日本で生まれた制震という 新たな技術を住友理工が牽引。

地震大国といわれる日本では、今後も大地震が起こる可能性が高く、建築物の地震対策が不可欠です。地震対策には、「耐震」「免震」「制震」の3つの方法があります。耐震は、建物全体を固くし、地震の衝撃に耐える工法。免震は、免震装置によって建物と地盤を切り離し、地震の揺れを建物に伝えにくくする仕組みです。そして、制震は壁の中にダンパーを設置し、建物の振動を吸収して揺れを軽減するもので、住友理工が、いま最も力を入れているのがこの技術です。免震工法はコストが高く、地盤によっては適さない場合がありますが、制震の場合は地盤を選ばず、低コストで建物の安全を確保することができます。そのため、大きな注目を集めています。

住環境

住友理工は、高分子材料技術を住環境向けデバイスにも展開しています。「TRCダンパー」は、地震時の建物の揺れ・変形を軽減する制震装置。高度な配合技術によって開発された特殊粘弾性ゴムが、地震エネルギーを熱エネルギーに瞬時に変換し、建物をダメージから守ります。



1 ビル用制震システム「TRCダンパー」(オフィスビル・マンション向け)



特殊粘弾性ゴムを使用したオフィスビルやマンションなど中高層ビルの地震対策に有効なシステム。薄くコンパクトな点も特徴です。

2 窓用高透明遮熱・断熱フィルム「リフレッシュ」



夏の日射熱流入の抑制(遮熱)と冬の室内熱流出の抑制(断熱)が可能な窓用フィルム。透明性とガラス破損時の安全性を兼ね備え、通年で窓際の快適性向上や空調電力削減に貢献します。建物向けの用途だけでなく、鉄道車両への採用も進んでいます。

3 交通振動対策用制振装置「マルチタイプTMD」



交通振動や生活振動での建物の不快な横揺れに対し、TMDのマスが建物の揺れと反対方向に動き、揺れを打ち消し合うことで建物の揺れを低減します。

4 重量床衝撃音対策用ダンパー



子どもの飛び跳ねなどの生活音を、バネとマスと高減衰ゴムの複合制振効果で低減。集合住宅や2世帯住宅の上下階の床衝撃音を解消します。

5 木造住宅用制震システム「TRCダンパー」



地震時に木造住宅の損傷を低減する制震システム。地震エネルギーを熱エネルギーに瞬時に変換させて揺れを低減させます。新築はもちろん、既存住宅のリフォームにも適しており、余震などの繰り返しの地震にも高い効果が期待できます。

6 化粧型枠「モールドスター」



建築・土木分野で豊富な施工実績のある化粧型枠です。コンクリート打設と同時にデザイン性の高い意匠・色彩を付加することにより、建物の外装を個性的かつ美しく彩ります。



自動車事業で培った世界最高水準の防振技術を 制震技術として建築へ応用。



住友理工は、そのコアコンピタンスである高分子材料技術と総合評価技術を生かし、自動車分野の防振技術では世界最高水準の実力を誇っています。そこで培った技術とノウハウを、地震対策用へと応用することで、ここ数年大きな伸びを見せています。繰り返しの揺れに強く、コスト面のメリットが大きいという制震ならではの長所、そして世界トップレベルの防振技術の応用から生まれたダンパーは、住環境におけるソリューションデバイスとして大きな可能性を秘めています。制震という技術で、今後もより広範な市場に向けた住友理工の制震デバイスの活用が期待されています。

[エレクトロニクス]

住友理工が世界で初めて開発・製品化を実現した帯電ロールをはじめ、クリーニングブレードや現像ロールなど、プリンターや複写機の心臓部には、画質を大きく左右する住友理工の重要機能部品が詰まっています。革新的な配合設計技術や異種材料の複合化技術、高精度加工技術によって、IT化の進む現代社会に不可欠な、高度な製品ニーズにお応えしています。

一方で、人口の爆発的な増加などで資源やエネルギーの獲得競争が激化し、地球環境の悪化が懸念される中、人と地球にやさしい社会づくりを目指した技術革新も重要な課題です。住友理工では、製版工程で有機溶剤を使わず、環境負荷低減に貢献する画期的な感光性水現像フレキシ版の製品化を実現。製版システムを含めた環境ソリューション事業への参入も果たしており、今後さらにこの分野での事業創出を推進していきます。



ロール・ブレード

electronics

事務機器用品

現代生活に不可欠なプリンターや複写機などの事務機器。
住友理工は革新的な配合設計技術、異種材料の複合化技術、
高精度加工技術を駆使し、世界で初めて製品化した帯電ロールをはじめ、
多くの機能部品を開発し、事務機器の性能向上に大きく貢献しています。

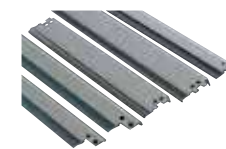
感光体周辺部品

① 帯電ロール



感光ドラムの表面を均一に帯電させるゴムロールで、画質を大きく左右する高機能部品です。当社が世界で初めて開発・製品化しました。

② クリーニングブレード



感光ドラム上に残ったトナーを除去する部品です。金属とウレタンという異種材料を成型と同時に接着し、ミクロン単位の高精度で加工する技術は、当社独自の開発によるものです。

③ 現像ロール



ミクロンオーダーのトナー粒子を均一に帯電させ、感光ドラムへ供給するための部品です。高度な電気特性制御・高寸法精度・高耐久性を可能としました。

④ スポンジロール



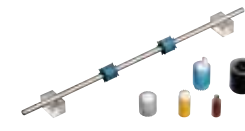
トナーを均一に供給および除去する（掻取る）スポンジロールです。スポンジでありながら、高寸法精度かつ、高耐久化のための表面意匠も可能な加工技術で差別化しています。

⑤ 中間転写ベルト

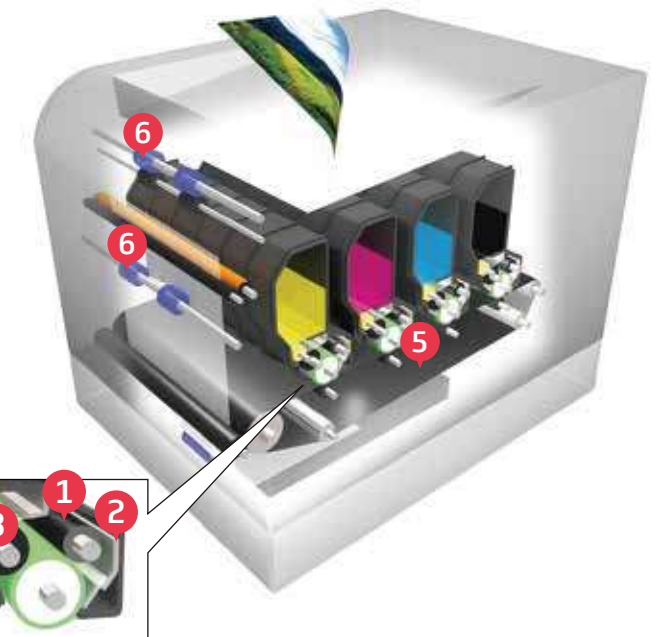


4色のトナーを重ね合わせてフルカラー画像を形成する重要機能部品です。シームレスで、製品全面にわたる均一な電気特性と高耐久性を実現しました。

⑥ 給紙・搬送ロール



用紙一枚ずつを正確に運ぶロールです。独自のウレタン配合技術と表面形成技術により、あらゆる用紙の紙粉付着を防止し、安定した用紙搬送を実現しています。



フレキシ印刷



感光性水現像フレキシ版「AquaGreen」

フレキシ印刷とは、柔らかいゴム凸版による印刷方式です。当社のアクアグリーン（AquaGreen）は、水で現像できるフレキシ版（他社の多くは溶剤使用）で、地球環境、作業環境にやさしく、高精細、高生産性の付加価値をもった環境対応印刷版です。



完全な環境印刷の実現を目指して。

住友理工の技術が、フレキシ印刷を進化させた。

インキの種類も被刷体も選ばないフレキシ印刷は、環境面で非常に注目を集めています。従来は樹脂製の版を用いており、版を溶剤で現像する必要がありましたが、住友理工は独自の配合技術を生かし、フレキシ印刷対応のゴム版を開発。高画質でありながら、水性インキが使えるのはもちろん、版を水で現像することができる環境配慮型製品です。成長市場であるフレキシブルパッケージの次世代印刷のスタンダードとして大きな可能性を秘めています。



[ヘルスケア]

圧力の「見える化」を実現する、ゴムでできた体圧分布センサー「スマートラバー（SR）センサ」を独自開発。製品化した「SRソフトビジョン」は、医療・介護の現場で、ベッドや車椅子での介護やリハビリ支援に活用されています。住友理工は、人々の暮らしと健康に役立つ新たな技術・製品の開発を進めています。

小牧市でフレイルチェックによる健康づくり事業を実施

2021年1月に小牧市（愛知県）と締結した「健康づくり等の推進に係る包括連携協力に関する協定」に基づき、同市からの事業委託を受け、当社のフレイルチェックシステムを使った各種測定を行っています。

当社は糸島市（福岡県）・九州大学と締結した3者協定の枠組みの中で、身体的フレイルに特化したフレイル対策に取り組んできました。この中で開発したフレイルチェックシステムは、握力や歩行速度、疲労度などを出力するとともに、自分が今どのような状態にあるかをわかりやすく理解する助けになるように設計されています。その結果をもとに医療スタッフによる適切な介入・支援を行い、健康状態を改善して健康寿命を伸ばすことを目指しています。



Topics

healthcare

健康介護

柔らかいセンサー技術を搭載した医療・介護・健康分野の製品を展開しています。圧力を可視化するSRソフトビジョンなど、これまでありそうでなかった技術を応用し、介護・医療の臨床現場で身近に取り扱えるものとした機器の開発によって、介護サービスを受ける方や患者様のQOL（生活の質）向上に貢献します。



体圧分布センサー「SRソフトビジョン」シリーズ



スマートラバー（SR）センサの技術を使った、体圧分布やバランスが表示できる体圧分布測定機器です。クッション、マットレスの選定、リハビリ支援など医療や介護のさまざまなシーンで活用されています。

※パソコンやモバイル端末は製品に含まれません。

胸骨圧迫 訓練評価システム「しんのすけくん」



SRセンサの技術を用いた胸骨圧迫（心臓マッサージ）訓練評価システムです。JRC蘇生ガイドライン2020に対応し、胸骨圧迫の質を項目ごとに評価・点数化できるため、救命講習などの訓練効果を高めます。

※パソコンやモバイル端末および訓練用的人形は製品に含まれません。

SRアクティブマットレス「体圧ブンさんフレンド」



SRセンサ技術を応用したマットレス型の福祉用具で、九州大学と当社による共同研究を通じて開発されました。利用者の体格や寝姿勢に応じて内蔵したエアセルを膨張・収縮させることにより、「オーダーメイド」の体圧分散を実施、床ずれ防止をサポートします。

モニライフ・ウェルネス



薄くて柔らかいスマートラバー（SR）センサが、眠りを妨げずに体動情報を取得します。専用のアプリでは、体動情報をもとに「呼吸成分」「心拍成分」「在床判定」を表示。自宅やホテルでのバイタルデータの取得と応用、介護施設での健康状態の確認による見守り、睡眠に関する研究・開発など、他の機器と組み合わせることで、さまざまな用途に利用できます。

モニライフ・モビリティ（ドライバーモニタリングシステム）



乗用車、トラックやバスなど各種モビリティが走行する際の振動環境下でも、座面の圧力変化のデータを取得し、生体情報（心拍成分や呼吸成分など）によるバイタルデータが推定できるシート型センシング機器。計測データをもとに、ドライバーの居眠りや疲労予兆検知、乗員の異常時対応、事業者による運行・労務管理といったサービスへとつなげます。



モニライフ・モビリティの運転席シート設置時

医療機器

口腔機能モニター「Oramo-bf」



SRセンサ技術を応用した、咬合力（噛む力）を数値化する計測機器です。主に口腔機能低下症[※]診断における咬合力検査で活用されており、センサーを噛むことで咬合力を計測します。計測中及び直後に速やかに咬合力を確認できることが特徴で、歯科大学などの研究機関から歯科診療所まで幅広く使用されています。

※加齢だけでなく、疾患や障害などさまざまな要因によって、口腔内の機能が複合的に低下している疾患。
参照：日本歯科医学会の口腔機能低下症に関する基本的な考え方（<https://www.jads.jp/assets/pdf/basic/r06/document-240329.pdf>）

Sustainability

持続可能な社会の実現を目指して

住友理工グループでは、サステナブルな社会の実現に向けた世界的な潮流に対して、「地球環境保全」「ダイバーシティ&インクルージョン」「人材育成」「エンゲージメント」「コンプライアンス」の5つのテーマを掲げ、さまざまな取り組みを推進しています。

その取り組みは、製品を通じた貢献から事業活動を通じた貢献まで、多岐にわたり幅広く対応してまいります。

サステナブルな社会の実現に向けて、
取り組みをさらに加速していきます。



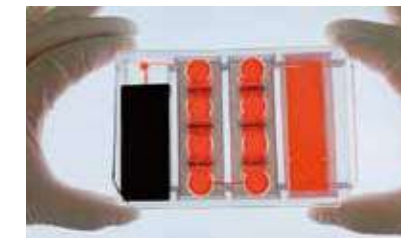
【製品】を通じたサステナビリティ



1. ファインシュライト

高分子材料技術を応用しシリカエアロゲルを塗料化した薄膜高断熱材。製造現場や設備では、断熱によるエネルギー消費の抑制が確認されるなど、さまざまな分野で事業活動に伴う二酸化炭素(CO₂)排出量削減に寄与しています。

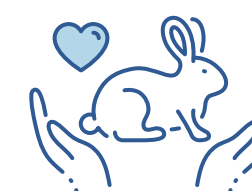
断熱性能に優れた
シリカエアロゲルの塗料化に成功



2. 生体模倣システム(MPS)※

動物実験の代替となる生体内の臓器機能や疾患状態を模倣した細胞培養デバイス。他社と共同で多臓器連結が可能なMPS※を開発し、がんの転移において重要な役割を果たすと言われるエクソソームの評価などに活用されています。

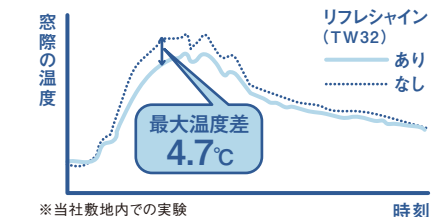
動物実験の代替となり
医療業界などをサポート



3. リフレッシュイン

透明性の高い窓用フィルムが、室内の明るさを保ったまま夏は遮熱、冬は断熱に効果を発揮します。年間を通じ冷暖房にかかる電力の低減効果※が見込まれ、CO₂削減にもつながるなど地球環境の負荷低減に貢献します。

窓際の温度で
最大4.7℃の抑制効果を確認



【事業活動】を通じたサステナビリティ



1. 未来を担う若者の育成に貢献 SDGs学生小論文アワード by 住友理工

2015年から毎年開催している大学、短大、高等専門学校など学生を対象としたアワードです。最優秀論文には賞金100万円が贈られ、これまで国内外から750本を超える応募がありました。これら新鮮な意見を当社グループの事業運営に生かし、今後も未来を創造する若者の育成に貢献し続けます。



2. カーボンニュートラルな社会に向けて グループ全体で 太陽光発電を1.6倍に増強

2023年度は新たにグローバル7拠点に計6.2MWの太陽光発電設備を導入し、発電容量は累計16.2MW(前年度比1.6倍)、年間のCO₂排出削減量は8,000t※に達しました。今後も順次導入を進めカーボンニュートラルな社会、サステナブルな事業構造への転換を目指します。

※当社調べ



3. サーキュラーエコノミーの実現を目指し ゴム・樹脂・ウレタン廃棄物を 新技術で再利用

限りある資源を有効活用する循環型社会を目指し、2022年から他社と共同で新技術の研究開発を開始しました。使用済製品や製造過程で発生する廃棄物、これらを微生物の力で新たな資源として生まれ変わらせて再利用し、循環させる取り組みで、サステナブルな社会の実現に寄与していきます。



Quality

住友理工の品質

「安全・快適・環境」をキーワードに、世界中のお客様に「喜び」を提供し続けたい。住友理工は、あたらしい価値を創造し続けるグローバル・システムサプライヤーとして、モノづくりの本質を大切にしながら、世界トップクラスの高品質な製品を提供し続けます。

Research and Development

研究開発

安全性、快適性、そして環境性など、製品の性能に対するニーズはますます高度化しています。住友理工は、そのコアコンピタンスの一つである、配合・合成・改質の各技術をベースとする「高分子材料技術」を生かし、社会のニーズに応える新たな機能部材を創出する研究開発を行っています。

Design and Analysis

設計・解析

部品単体だけでなく、最終製品に必要とされる性能や信頼性を満たす製品設計技術。そして、ゴムや樹脂をはじめとする製品の高精度な性能予測や最適設計を実現するCAE解析技術。住友理工では設計段階において、こうした技術を駆使することにより、お客様のニーズを先読みしながら、より信頼性の高い、高品質な製品を開発・提案しています。

Prototypes and Evaluation

試作・評価

システムサプライヤーとして、多角的な視点から徹底的に材料・製品・システムを分析・検証するのが、住友理工のコアコンピタンス「総合評価技術」です。たとえば、自動車用部品では、実際の自動車に部品を組み付けて車両評価を行うことで、部品単体では予測できない必要特性を抽出するなど、最終ユーザーであるお客様の高度なニーズを的確につかみ、それらに確実に応えながら、信頼性の高い製品を提供する評価技術を確立しています。



Manufacturing

生産

住友理工は、総合高機能部品メーカーとして、お客様のさまざまなニーズにタイムリーにお応えするため、国内に生産5拠点（小牧、埼玉、富士裾野、松阪、京都の各製作所・事業所）を構えているほか、住友理工グループの製造子会社が東北～九州の各地で事業を展開しています。

自動車用部品をはじめ、新幹線などの鉄道車両用部品、重機や工業プラント、都市土木、道路・橋梁などのインフラ関連製品、プリンター・複写機をはじめとする事務機器向け精密部品、住宅関連製品や介護製品に至る幅広い領域で、これまでに蓄積した生産技術力と自動化の推進により、生産性の高い製造プロセスを構築し、高品質な製品を生み出し続けています。

自動車用品部門においては、海外自動車メーカーへの製品供給の需要が高まっており、米州や欧州、アジアなど全世界で現地生産ができる体制を構築しているほか、自動車を除く一般産業用品部門でも、海外生産体制の整備を進めています。

Sales

販売

世界中のお客様に満足していただける製品を提供するため、自動車用品部門ではグローバル5極（日本、米州、欧州・アフリカ、中国・韓国、アジア）での製品開発・供給体制を構築し、販売を行っています。インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの一般産業用品部門においてもこれらの拠点網を活用し、世界水準の製品をお客様へ提供しています。



History

住友理工の革新的な歩み

配合・合成・改質の各技術をベースに、高機能な材料を創出し、高付加価値の製品を生み出す「高分子材料技術」。

さらに、製品に必要な性能や信頼性を自社で評価・検証する「総合評価技術」。

住友理工の研究開発を支えるこれらの強みを武器に、

既存事業の拡充はもちろん、新市場・新領域への事業展開を積極的に進めています。

人と社会、地球環境に役立つ価値の創造を目指して、挑戦は続きます。

第1の創業

1929 三重県四日市市に昭和興業株式会社として創業



1930 蒲田調帯株式会社に社名を変更

1937 住友グループの傘下に、東海護謨工業株式会社に社名を変更

1943 松阪工場（現・松阪事業所）操業開始

1949 名古屋証券取引所（名証）に株式を上場

1960 小牧工場（現・小牧製作所）操業開始

1961 東海ゴム工業株式会社に社名を変更

1964 本社を四日市市から愛知県小牧市に移転

1976 現場での改善活動を通じた人材育成の取り組み、フォアマン研修（F研）開始

1986 テクニカルセンター完成（愛知県小牧市）



1929

第2の創業

初の海外進出

1988 初の海外拠点として米国にDTR Industries, Inc.（現・SumiRiko Ohio, Inc.）を設立



1990 富士裾野工場（現・富士裾野製作所）操業開始

1994 東京証券取引所（東証）市場二部に株式を上場

1995 アジア圏に初の拠点設立（タイ・中国）

1996 東証・名証一部に指定替え

1999 欧州圏に初の拠点設立（ポーランド）

2002 海外初の開発拠点として米国にTRI Technical Center USA, Inc.（現・SumiRiko Technical Center America, Inc.）を設立

2008 技術研究所「テクノピア」完成（愛知県小牧市）



1988

第3の創業

M&Aによるグローバル体制の強化

2013 イタリアの自動車用ホースメーカー・Dytech-Dynamic Fluid Technologies S.p.A.（現・SumiRiko Italy S.p.A.）、ドイツの自動車用防振ゴムメーカー・Anvis Group GmbH（現・SumiRiko AVS Holding Germany GmbH）をそれぞれ買収・連結子会社化

研修センター「鵜沼三学館」完成（岐阜県各務原市）

2014 住友理工株式会社に社名を変更

2015 ゴム製シール部材「セル用ガスケット」の生産機能を担う住理工FCシール株式会社を設立（愛知県小牧市）

東北初の自動車用防振ゴム生産拠点として住理工山形株式会社を設立（山形県米沢市）



2016 グローバル本社を開設（名古屋市中村区）

自動車新商品開発センター（現・新商品開発センター）を設立（愛知県小牧市）

2018 産業用ホース子会社2社を統合して住友理工ホーステックス株式会社を発足（京都府綾部市）

2019 ゴムシール材製造会社・株式会社住理工ファインエラストマーを吸収合併し、埼玉事業所を開設（埼玉県上尾市）

2020 国立研究開発法人 産業技術総合研究所と共同で「住友理工・産総研 先進高分子デバイス連携研究室」を設立（茨城県つくば市）

2021 ベトナムに自動車用ホース製造会社・SumiRiko Vietnam Co., Ltd.を設立

製品開発の歴史



2029年
創立 **100** 周年

経営ビジョン「2029年 住友理工グループVision(2029V)」

2029

【ありたい姿】

理工のチカラを起点に

社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける リーディングカンパニー

2029年に向けた3つの方向性

■ 未来を開拓する人・仲間づくり

■ 柔軟かつ強固な組織づくり

■ 持続可能な社会に向けた価値づくり

海外

欧州・アフリカ

ロシア	SumiRiko Automotive Hose RUS AO
ロシア	000 SumiRiko AVS RUS
ポーランド	SumiRiko Poland Sp. z o.o.
ポーランド	SumiRiko Automotive Hose Poland Sp. z o.o.
ドイツ	Sumitomo Riko Europe GmbH
ドイツ	SumiRiko AVS Holding Germany GmbH
ドイツ	SumiRiko AVS Germany GmbH
オランダ	SumiRiko AVS Netherlands B.V.
チェコ	SumiRiko AVS Czech s.r.o.
フランス	SumiRiko Rubber Compounding France S.A.S.
フランス	SumiRiko SD France S.A.S.
ルーマニア	SumiRiko AVS Romania SRL
イタリア	SumiRiko Italy S.p.A.
スペイン	SumiRiko AVS Spain S.A.U.
トルコ	SumiRiko Hose Otomotiv Sanayi Ticaret ve Pazarlama Limited Şirketi
チュニジア	SumiRiko Automotive Hose Tunisia Sarl
チュニジア	SumiRiko Metal Tube Tunisia Sarl
南アフリカ	SumiRiko South Africa (Pty) Ltd.

Europe
and Africa

欧州・アフリカ

20

China and
South Korea

中国・韓国

22

Asian
countries

アジア諸国

14

※会社数は2024年5月時点(住友理工含む)

中国・韓国

中国	住友理工企業管理(中国)有限公司
中国	東海軟管(太連)有限公司
中国	東海橡塑(天津)有限公司
中国	東海橡塑模具(天津)有限公司
中国	東海化成(天津)汽車部品有限公司
中国	環宇東海橡塑(天津)有限公司
中国	東海津榮模具(天津)有限公司
中国	東海橡塑(合肥)有限公司
中国	住理工橡塑(無錫)有限公司
中国	住理工汽車部件(蘇州)有限公司
中国	蘇州東海橡塑科技有限公司
中国	東海天普汽車零部件(上海)有限公司
中国	住理工化工產品(上海)有限公司
中国	東海橡塑(上海)国際物流有限公司
中国	東海橡塑(嘉興)有限公司
中国	東海橡塑技術中心(中国)有限公司
中国	東海橡塑(広州)有限公司
中国	東莞樟木頭東海橡塑有限公司
中国	東海橡塑工業香港有限公司
中国	大興住理工橡塑材料(塩城)有限公司
中国	常州住電東海今創特殊橡膠有限公司
韓国	株式会社大興R&T

アジア諸国

インド	Tokai Imperial Rubber India Pvt. Ltd.
インド	Tokai Imperial Hydraulics India Pvt. Ltd.
インド	Tokai Rubber Auto-Parts India Pvt. Ltd.
ベトナム	SumiRiko Vietnam Co., Ltd.
ベトナム	SumiRiko Hose Vietnam Co., Ltd.
タイ	Sumitomo Riko (Asia Pacific) Ltd.
タイ	Inoac Tokai (Thailand) Co., Ltd.
タイ	SumiRiko Eastern Rubber (Thailand) Ltd.

タイ	SumiRiko Rubber Compounding (Thailand) Ltd.
タイ	SumiRiko Chemical and Plastic Products (Thailand) Ltd.
タイ	SumiRiko Fine Elastomer (Thailand) Ltd.
インドネシア	PT. Tokai Rubber Indonesia
インドネシア	PT. Tokai Rubber Auto Hose Indonesia
インドネシア	PT. Fukoku Tokai Rubber Indonesia

国内

日本

住理工山形株式会社
東海化成工業株式会社
住友理工ホーステックス株式会社
株式会社住理工メテックス
株式会社住理工エンジニアリング
住理工FCシール株式会社
株式会社住理工クリエイツ
株式会社住理工ロジテック

住理工情報システム株式会社
株式会社住理工ジョイフル
住理工商事株式会社
株式会社住理工大分AE
株式会社住理工九州
株式会社東海化成九州
株式会社タイヨーラベックス
佐橋工業株式会社

Japan

日本

17

The Americas

米州

11

米州

米国	Sumitomo Riko America, Inc.
米国	SumiRiko Technical Center America, Inc.
米国	SumiRiko Ohio, Inc.
米国	SumiRiko Tennessee, Inc.
メキシコ	S-Riko Automotive Hose de Chihuahua, S.A.P.I. de C.V.
メキシコ	S-Riko Automotive Hose Sales Chihuahua, S. de R.L. de C.V.
メキシコ	S-Riko de Querétaro, S.A.P.I. de C.V.
ブラジル	SumiRiko do Brasil Indústria de Borrachas Ltda.
ブラジル	S Riko Automotive Hose Holding Brasil Ltda.
ブラジル	S Riko Automotive Hose do Brasil Ltda.
ブラジル	S Riko Automotive Hose Tecalon Brasil S.A.

本社

グローバル本社 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号
JPタワー名古屋
TEL／052-571-0200 FAX／052-571-0225

小牧本社 〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地
TEL／0568-77-2121 FAX／0568-77-5341

生産拠点

小牧製作所 〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地
TEL／0568-77-2121 FAX／0568-77-5341

埼玉事業所 〒362-0044 埼玉県上尾市大谷本郷255番地
TEL／048-781-5121 FAX／048-781-5127

富士裾野製作所 〒410-1231 静岡県裾野市須山1220番地の8
TEL／055-998-1900 FAX／055-998-1901

松阪事業所 〒515-0005 三重県松阪市鎌田町1001番地
TEL／0598-52-2121 FAX／0598-52-2815

京都事業所 〒623-0017 京都府綾部市とよさか町1番地
TEL／0773-40-5250 FAX／0773-40-5251

支社・支店・営業拠点

東京支社 〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目18番16号
住友浜松町ビル8階
TEL／03-5777-9721 FAX／03-5777-9722

大阪支社 〒530-0005 大阪市北区中之島2丁目2番7号
中之島セントラルタワー5階
TEL／06-6223-8156 FAX／06-6223-8160

広島支店 (自動車営業) 〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目3番2号
銀泉広島ビル5階
TEL／082-248-1991 FAX／082-249-6781

浜松営業所 (自動車営業) 〒432-8041 静岡県浜松市中央区菅原町11番43号
第2堀留ビル2階
TEL／053-451-1871 FAX／053-451-1873

東京自動車営業部 〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野七丁目1番6号
相模大野第一生命ビルディング2階
TEL／042-701-2790 FAX／042-748-3660

宇都宮自動車営業部 〒321-0953 宇都宮市東宿郷1丁目9番15号
フローラビル10階
TEL／028-633-3877 FAX／028-633-3380

Global network

グローバルネットワーク

自動車メーカーをはじめとするお客様の開発環境や生産体制の変化に伴い、

全世界同一品質・安定供給へのニーズがますます高まっています。

住友理工グループは、この市場ニーズにお応えするため、グローバル展開を積極的に推進。

世界5極で製品開発・供給体制を整備し、グローバル・システムサプライヤーの地位を確立、

現在、世界20ヶ国以上で事業を展開しています。